

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2 年 A クラス	子どもと造形表現	木村 早苗	
サブタイトル	幼児の造形表現について実技を通して体験的に学ぶ	単 位 数	1
授業形態	演習（オムニバス）		
開講時期	後期	出席要件	4／5 以上
到 達 目 標			
1 幼児の造形表現を豊かに展開するために必要な知識や技能、指導法を身につけることができる。 2 素材や道具について適切な使用方法を理解し、表現教材の活用および作成、環境構成等を発展的に活用する力を身につけることができる。 3 鑑賞の意義について理解し、表現の多様性や造形・美術に興味を持つことができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
1．ディプロマポリシーとの関連：専門学校のディプロマポリシー「保育に関する基礎的な知識や保育技術を修得し、保育の場で応用して発揮することができる」に関連する。〈学びで得られる成果〉専門分野に関する知識・技術を体系的に学び、理論と実践を結びつけて主体的に課題を解決することができる。 2．カリキュラムマップの位置づけ：保育者としての得意分野を広げる専門領域、「保育表現領域」の学びに関連する。			
授 業 の 方 法			
1 製作、教材開発を通し、目標に応じた造形活動を行う 2 展示、鑑賞、発表を行う 3 授業の内容をドキュメンテーションブックにまとめる			
テキスト・教材・参考図書			
特になし			
評 価 の 要 点			総合評価割合
以下の点などで総合的に評価する 1 各課題の目標到達度 2 鑑賞・発表の内容 3 作品と製作過程の記録を考察し、まとめたドキュメンテーションブックの内容			作品の制作とそれをまとめたドキュメンテーションブック（90%） 作品発表（10%）
履修上の注意事項や学習上の助言など			
指定された必要な材料、道具は各自用意すること 課題を探究し実践的に解決する能力を養うため、主体的に楽しんで取り組みましょう			

科 目 名 子どもと造形表現

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	ガイダンス ・幼児の表現について学ぶ ・授業内容と学習方法、提出物（ドキュメンテーションブック）と評価について把握する	幼児の造形表現の理解 学習の見通し
2 回	鉛筆、コンテ、木炭、ペンなどを使って、線から生み出されるイメージの世界、感情の世界を体験する	線と面の構成 線から生まれる心象表現
3 回	色鉛筆での線描、混色、ぼかしなどを使った表現の美しさ、面白さを体験する	色彩感覚 色鉛筆表現の多様さ
4 回	クレヨンでの滲み、ぼかし、はじき、スクラッチなどの表現を体験する	色彩感覚 クレヨン表現の多様さ
5 回	絵の具を材料に、ローラー、はけなどを身体的に扱い、ダイナミック、かつ繊細な美しさを感じながら表現を楽しむ	色彩感覚・画面構成 絵の具表現の多様さ
6 回	ドキュメンテーションブックまとめ	表現の振り返り 構成力・表現力
7 回	様々な版画表現を楽しむ ①紙版画 紙の構成や厚さ、インクの量による刷りの違いを楽しむ	紙版画の基本と応用 画面構成
8 回	様々な版画表現を楽しむ ②スチレン版画 1 スチレン板に内的なイメージや線の構成の面白さを描く	スチレン版画の基本と応用 イメージを表現する力 画面構成
9 回	様々な版画表現を楽しむ ②スチレン版画 2 スチレン版から生まれる刷りの面白さ、写しの面白さを楽しむ	スチレン版画の基本と応用 色彩感覚
10 回	ドキュメンテーションブックまとめ	表現の振り返り 構成力・表現力
11 回	グループ製作（素材研究）	素材体験の広がり と 深化 共に表現を作り出す力
12 回	グループ製作（素材研究）	素材体験の広がり と 深化 共に表現を作り出す力
13 回	ドキュメンテーションブックまとめ	表現の振り返り 構成力・表現力
14 回	ドキュメンテーションブック発表会	造形表現における内面の 変化について振り返る
試験	ドキュメンテーションブックの提出	